

てく Take ちゅう Walking 46 『お仕事拝見！』

今回は市電「西線11条」より徒歩5分、児童デイサービス「ドリーム中央」にお邪魔してきました。ドリーム中央は、もともと保育園を運営していた運営法人が、「子どもたちの発達の違いや特性に応じた支援をしていきたい」という

思いをもとに、平成20年4月に「ドリーム手稲」を開設し、その後、中央区にお住まいの子どもにも療育の場を広めるため、平成25年4月に開設されました。

ドリーム中央の療育は、個別療育や小集団の療育を特徴とし、児童発達支援のお子さんを中心とする「ドリーム中央Ⅰ」と、放課後等デイサービスのお子さんを中心とする「ドリーム中央Ⅱ」に分かれており、それぞれの年齢や特性に応じた療育が行われています。

1 療育の特徴について

スタッフは、保育士、学校教員、児童指導員など11名の有資格者で構成され、常勤の言語聴覚士による言葉の療育にも力を入れています。幼児期の療育では、生活リズムや基本的な生活習慣を身につけることを目標とし、遊びを通してお友達との関わり方を学んだり、体力づくりを行ったりしております。学習期では、学習の支

援や集団活動でのルールや社会性を学び、コミュニケーション能力の向上を目指しています。具体的には、季節に応じて、様々な絵に色を塗ったり、折り紙で花や動物を作ったりする創作活動や、

うたやおどり、ゲームやリズム遊びを行って指先の使い方や体幹を鍛えたり、天気の良い日には近くの公園に散歩に行きながら体力づくりを行ったりなど、子ども達が楽しんで行える療育を行っています。これらの活動の様子やイベント情報などは、た

くさんの写真付きでホームページで紹介させていただきますので、ぜひご覧ください。
<http://dream-c.fkoh.jp/index.html>

2 心がけていることや保護者の方の言葉など

療育にあたっては、見学時から保護者の方の不安や困りごとをしっかりとアヒリングして、それぞれの子どもに合った療育のあり方を提案することを大切にされています。また、スタッフが子どもと一緒に遊んで楽しんで接していくことで、子どもとの信頼関係を築いていくことも大切にされています。そのため、送迎車の中で「先生、今日は〇〇くん遊ぶんだ」とドリーム中央に着くのを楽しみにしている子どもたちがいたり、保護者の方から「子どもが『お休みの日もドリーム中央に行きたい』と言っていました」との声をいただいたりすることもあり、それがスタッフの方としてもうれしく、やりがい



わきあいあいと楽しみながら創作活動をしています

つながらる場面も多いそうです。

また、ドリーム中央では、社内研修で、同法人内の他の事業所のスタッフと行う事例検討会を定期的に行っており、各事業所での療育の情報共有をする機会を設け、全体的なスタッフのスキルアップを目指しています。



感覚あそびの一つ「新聞あそび」の様子です

最後に、取材にに応じていただいた山田様に、事業所のPRポイントについてお伺いいたしました。

「ドリーム中央では、楽しい遊びや活動を通して、お友達との関わり方を学んでいけるように療育に取り組んでいます。そのためには、子どもたちにドリーム中央に来て「楽しい！」と感じてもらい、子どもたちの「やりたい！」という自発的な行動を引き出せるように、一人ひとりの関係性を大切にしています。また、地域交流の機会として、学童保育や他事業所との交流を、体育館を借りて行う運動会など年に2回ほど企画しています。

見学や相談などのご希望がありましたら、お気軽にご連絡をいただければと思います」

〈連絡先〉〒064-0810 札幌市中央区南1
0条西16丁目3-25

児童デイサービス ドリーム中央

電話 011-561-9055

メール dream-c@fcoh.jp